



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月27日  
上場取引所 東

上場会社名 第一工業製薬株式会社  
コード番号 4461 URL <https://www.dks-web.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山路 直貴  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 清水 伸二 TEL 075-323-5955  
四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	13,884	△10.1	△572	—	△557	—	△477	—
2023年3月期第1四半期	15,441	7.1	291	△73.4	377	△58.3	98	△79.9

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 16百万円 (△97.2%) 2023年3月期第1四半期 595百万円 (△18.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△49.96	—
2023年3月期第1四半期	9.66	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	90,029	37,838	37.6	3,544.83
2023年3月期	85,025	38,296	40.4	3,593.49

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 33,880百万円 2023年3月期 34,346百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	20.00	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	△8.4	400	△44.2	300	△65.6	100	—	10.46
通期	68,000	4.5	2,500	110.8	2,300	91.7	1,200	—	125.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	10,684,321株	2023年3月期	10,684,321株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,126,550株	2023年3月期	1,126,227株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	9,557,771株	2023年3月期1Q	10,183,970株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(収益認識関係) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る各種制限の段階的緩和により穏やかな回復基調の動きが見られました。一方で、急激な円安や資源・エネルギー価格の高騰による消費への影響懸念ほか、海外の経済・物価動向、今後のウクライナ情勢の展開などを要因として、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような環境のもと、2020年4月より実行してきた中期経営計画「FELIZ 115」を、本年6月12日、当社を取り巻く外部環境や注力分野の市況を考慮し、実態に即した計画値へ見直しました。まずは、総力を挙げて確実な価格転嫁を推進し、収益改善を図ります。さらには、製品開発のスピードを上げ、競争力のある製品の生産を増やし、低下した工場稼働率を向上させます。ライフサイエンス事業では、機能性表示食品の届出が完了した新商品や素材販売の促進、受託などで事業拡大を図り、早期黒字化をめざします。

当第1四半期連結累計期間の業績としましては、『機能材料』セグメントの海外向け難燃剤が大きく落ち込んだことにより、売上高は138億84百万円（前年同期比10.1%減）となりました。

損益面につきましては、原材料価格の高騰や、『機能材料』セグメントや『電子デバイス材料』セグメントでの販売が大きく落ち込んだことにより、営業損失は5億72百万円（前年同期は2億91百万円の利益）、経常損失は5億57百万円（前年同期は3億77百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億77百万円（前年同期は98百万円の利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <界面活性剤>

界面活性剤の売上高は、総じて低調に推移しました。

国内では、塗料・色材用途は堅調に推移しましたが、I T・電子用途、ゴム・プラスチック用途は低調に推移しました。石鹼・洗剤用途は大きく落ち込みました。

海外では、ゴム・プラスチック用途、塗料・色材用途は堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は42億87百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

営業利益は、売上が落ち込んだことに加え、原材料価格高騰の影響を受け2億29百万円（前年同期比41.1%減）となりました。

#### <アメニティ材料>

アメニティ材料の売上高は、総じて堅調に推移しました。

国内では、セルロース系高分子材料はエネルギー・環境用途が低調に推移しました。シヨ糖脂肪酸エステルは食品用途が堅調に推移し、ビニル系高分子材料はゴム・プラスチック用途が堅調に推移しました。

海外では、シヨ糖脂肪酸エステルは食品用途が低調に推移しましたが、化粧品用途は堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は19億69百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

営業利益は、原材料価格高騰の影響を受け25百万円の営業損失（前年同期は6百万円の利益）となりました。

#### <ウレタン材料>

ウレタン材料の売上高は、総じて大幅に伸長しました。

フロン規制に関連する環境配慮型の合成潤滑油は堅調に推移し、公共工事に関連する土木用薬剤は大幅に伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は21億51百万円（前年同期比21.8%増）となりました。

営業利益は、原材料価格高騰の影響を受け1億52百万円の営業損失（前年同期は1億26百万円の損失）となりました。

#### <機能材料>

機能材料の売上高は、総じて大きく落ち込みました。

国内では、水系ウレタンは繊維用途が低調に推移し、光硬化樹脂用材料はI T・電子用途が低調に推移しました。

海外では、光硬化樹脂用材料はI T・電子用途が低調に推移し、難燃剤はゴム・プラスチック用途が大きく落ち込みました。

その結果、当セグメントの売上高は39億61百万円（前年同期比27.8%減）となりました。

営業利益は、売上が大きく落ち込んだことに加え、原材料価格高騰の影響を受け3億33百万円の営業損失（前年同期は1億44百万円の利益）となりました。

#### <電子デバイス材料>

電子デバイス材料の売上高は、総じて大きく落ち込みました。

ディスプレイ用途のイオン液体、太陽電池用途の導電性ペーストが低調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は14億23百万円（前年同期比8.2%減）となりました。

営業利益は、売上高が大きく落ち込んだことにより36百万円の営業損失（前年同期は1億7百万円の利益）となりました。

#### <ライフサイエンス>

ライフサイエンスの売上高は、前年同期と比べ34百万円減少し、89百万円（前年同期比27.8%減）となりました。

医薬品添加物や天然素材からの抽出物の濃縮化、粉末化による健康食品等の受託事業は低調に推移しました。

営業利益は、売上高が大きく落ち込んだほか、研究開発費を中心に営業経費が増加したことにより2億53百万円の営業損失（前年同期は2億30百万円の損失）となりました。

2025年3月期には、ライフサイエンス事業の黒字化に目途を立てるべく、①2023年2月認知機能分野で機能性表示食品の届出が完了した「快脳冬虫夏草」を中心とするBtoC、②カイク冬虫夏草粉末やスタチ果皮エキスなど素材販売を狙ったBtoB、③グループ会社である池田薬草の受託事業拡大などにより、事業の収益化を図ります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は495億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億22百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が10億75百万円減少したものの、現金及び預金が58億17百万円増加したことなどによるものです。固定資産は404億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億80百万円増加しました。これは主に投資有価証券が4億85百万円、有形固定資産の合計が3億54百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は900億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億3百万円増加しました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は198億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億52百万円減少しました。これは主に設備関係未払金などのその他（流動負債）が11億16百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が18億19百万円減少したことなどによるものです。固定負債は323億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ62億15百万円増加しました。これは主に長期借入金が63億8百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は521億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ54億62百万円増加しました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は378億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億58百万円減少しました。これは主にその他有価証券評価差額金が3億32百万円増加しましたが、親会社株主に帰属する四半期純損失4億77百万円及び剰余金の配当3億82百万円などにより利益剰余金が8億59百万円減少したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は37.6%（前連結会計年度末は40.4%）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月15日付で公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,128	14,946
受取手形及び売掛金	15,105	14,029
電子記録債権	2,218	2,297
商品及び製品	13,131	12,480
仕掛品	16	17
原材料及び貯蔵品	3,489	3,321
前払費用	369	482
その他	1,956	1,962
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	45,411	49,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,834	12,642
機械装置及び運搬具(純額)	4,650	4,474
工具、器具及び備品(純額)	800	882
土地	9,748	9,783
リース資産(純額)	2,338	2,273
建設仮勘定	2,369	3,040
有形固定資産合計	32,743	33,097
無形固定資産		
341	341	343
投資その他の資産		
投資有価証券	4,274	4,759
長期貸付金	14	14
長期前払費用	512	459
繰延税金資産	299	358
退職給付に係る資産	1,063	1,091
その他	371	376
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	6,529	7,053
固定資産合計	39,614	40,495
資産合計	85,025	90,029

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,972	8,152
電子記録債務	379	390
短期借入金	6,516	6,766
リース債務	474	477
未払費用	308	292
未払法人税等	232	200
未払事業所税	41	10
賞与引当金	712	476
その他	2,002	3,118
流動負債合計	20,639	19,887
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	17,348	23,657
リース債務	2,131	2,049
繰延税金負債	196	178
退職給付に係る負債	79	81
資産除去債務	74	74
その他	259	264
固定負債合計	26,089	32,304
負債合計	46,729	52,191
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,895	8,895
資本剰余金	7,276	7,271
利益剰余金	19,250	18,390
自己株式	△2,488	△2,488
株主資本合計	32,933	32,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	467	799
為替換算調整勘定	765	839
退職給付に係る調整累計額	180	172
その他の包括利益累計額合計	1,413	1,812
非支配株主持分	3,949	3,957
純資産合計	38,296	37,838
負債純資産合計	85,025	90,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	15,441	13,884
売上原価	12,187	11,583
売上総利益	3,253	2,300
販売費及び一般管理費	2,961	2,872
営業利益又は営業損失(△)	291	△572
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	7	8
持分法による投資利益	17	—
受取賃貸料	8	8
為替差益	109	72
その他	39	21
営業外収益合計	184	113
営業外費用		
支払利息	45	53
社債利息	9	9
持分法による投資損失	—	1
その他	44	34
営業外費用合計	99	99
経常利益又は経常損失(△)	377	△557
特別損失		
固定資産処分損	35	19
特別損失合計	35	19
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	341	△577
法人税、住民税及び事業税	119	63
法人税等調整額	2	△218
法人税等合計	122	△155
四半期純利益又は四半期純損失(△)	219	△422
非支配株主に帰属する四半期純利益	120	55
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	98	△477

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	219	△422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93	332
為替換算調整勘定	266	106
退職給付に係る調整額	△13	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	29	8
その他の包括利益合計	376	438
四半期包括利益	595	16
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	378	△78
非支配株主に係る四半期包括利益	217	95

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	ライフサイエンス	合計
売上高							
顧客との契約から生じる収益	4,567	1,945	1,766	5,487	1,550	123	15,441
外部顧客への売上高	4,567	1,945	1,766	5,487	1,550	123	15,441
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	4,567	1,945	1,766	5,487	1,550	123	15,441
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	389	6	△126	144	107	△230	291

(注) 報告セグメント利益又は損失の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	ライフサイエンス	合計
売上高							
顧客との契約から生じる収益	4,287	1,969	2,151	3,961	1,423	89	13,884
外部顧客への売上高	4,287	1,969	2,151	3,961	1,423	89	13,884
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	4,287	1,969	2,151	3,961	1,423	89	13,884
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	229	△25	△152	△333	△36	△253	△572

(注) 報告セグメント利益又は損失の合計金額と四半期連結損益計算書の営業損失は一致しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。